



**平成28年度 第2回
茨木市文化芸術推進市民会議
(結果レポート)**

日時:平成29年2月21日(火)

午後6時30分~午後8時30分

場所:市役所南館8階 中会議室

1 参加者(11人)

公募市民、茨木市音楽芸術協会・オワゾルール会、茨木美術協会・茨木写真協会、茨木市文化財愛護会、朝鳳連合会、茨木市郷土芸能保存会、茨木市謡曲連合会、茨木市詩吟連盟、立命館大学、茨木市観光協会、商工会議所

2 会議の進め方

アートツアー&座談会形式

3 進行役

茨木市文化振興課振興係長 田中

茨木市文化振興課職員 川崎

4 会議内容

(1) 開会・昨年度の振り返り

今回は、「HUB-IBARAKI ART PROJECT」との連携をテーマにグループワークを実施し、学生、文化団体とのコラボや様々な場所での展開など、多くの魅力ある提案をいただきました。本日は、その提案がどのような形で実現したか、アートツアーで巡り、見ていただきます。

(2) アートツアー

南館8階 文化振興課事務室ロッカー



本館1階 市民課前プランター



合同庁舎7階 プラネタリウム前壁面



(3)「HUB-IBARAKI ART PROJECT」の 今後の取り組み等について

作品製作について

- 本館と南館の1階連絡通路の壁面製作
- 南館1階受付付近の公衆電話台製作
- 生涯学習センターきらめき3階に壁面製作
- 福祉文化会館、市民総合センター、青少年センターに作品設置

今後のイベントについて

- 3月18日（土）に「アートでフォトツアー」を実施
- 3月20日頃から9月末まで完成イベント等を実施予定



(4) 座談会

主な内容

- 子どもが参加できるアートイベントは実施しますか
→ 4月以降に学校に出張しての体験会など、できたらいいと思っている
- 製作過程を映像で残しておけば面白いと思う
→ 時々、映像を撮っており、最終的にHP等で見れる形にしたい
- 作品製作は普段と茨木市で異なりますか
→ 同じです。一枚の絵の中で完結しない対になるものも描いている。例えば、大きな一滴と小さな一滴の集まりを対にしたり、もともとあるものをあえて残すことで描いた部分を対比でより際立たせている



(5) 振り返り

ワークショップの最後に今回の市民会議についての振り返りを行いました

主な意見

- 麦さんの作品に触れ、制作者の麦さんに直接、作品について尋ねることができたことが良かった
- 中島さんのアートを見せていただきましたがとても感動しました。いろいろなお話を聞いて茨木市が文化・芸術の町として素晴らしい一歩となる気がしました
- 市民会議の具体的な成果を見学できて良かった
- 絵画、音楽に限らず、あらゆるジャンルに広がるワークショップがあれば楽しいだろうと思う
- 具体的な協働の取り組みを軸にした会議の方が、イメージしやすいように思います
- 麦さんの作品がもっと市民の方に見ただけのよう市報などで宣伝に力を入れてほしい
- 「触れる」「街にとけこむ」アートを見せていってはどうか

5 さいごに

今年度は、「HUB-IBARAKI ART PROJECT」との連携をテーマに、グループワークで魅力ある提案をいただき、選定作家の中島麦さんと相談のうえ、実現いたしました。

また、アンケートでは、参加者全員が、「良かった」もしくは「まあまあ良かった」との感想をいただくなど、非常に満足度が高い会議となりました。

来年度も、この市民会議において、より交流を深めつつ文化振興ビジョンに関わる具体的なテーマを設定し、皆さんとともに茨木市の文化を推進していきたいと考えております。

市民の誰もが気軽に文化芸術を楽しむことができる機会を整え、「みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち」という将来像の実現に向けて引き続き取り組んでいきますので、皆さんよろしくお願いいたします。

ご参加いただいた皆さんありがとうございました！